

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

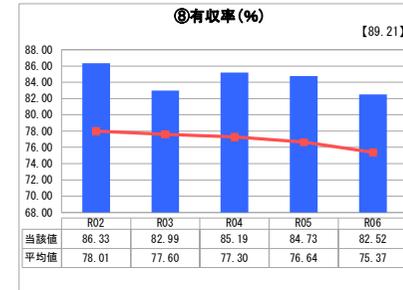
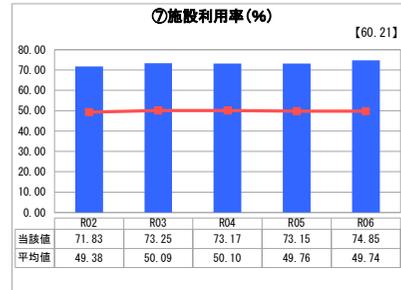
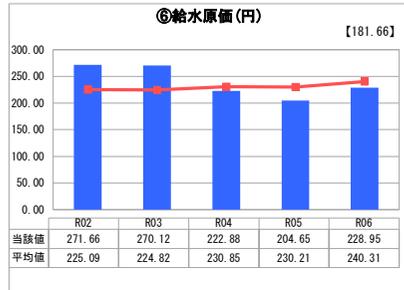
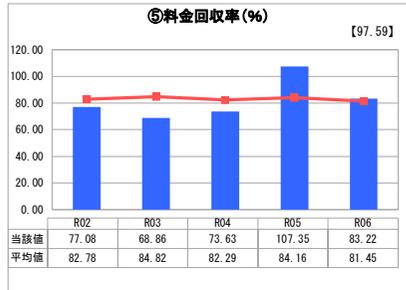
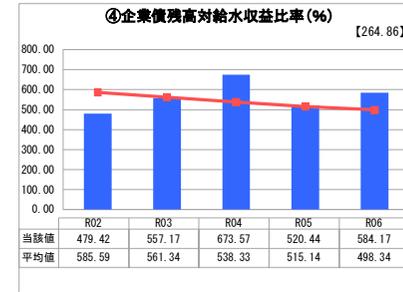
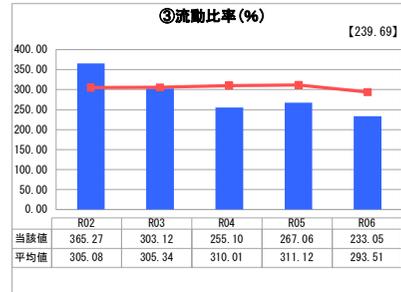
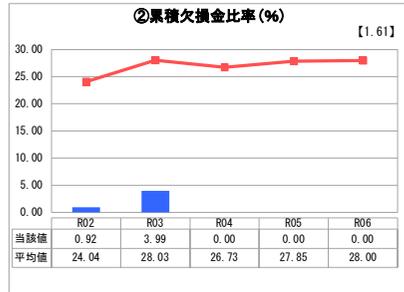
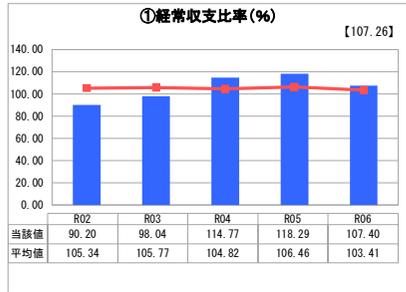
和歌山県 日高町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金 (円)	
-	53.20	99.85	3,702	

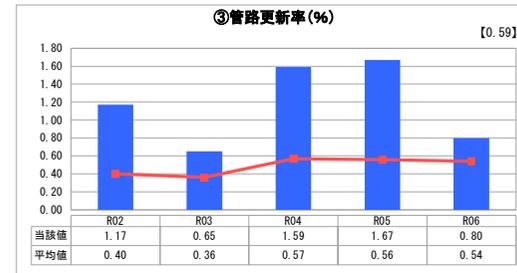
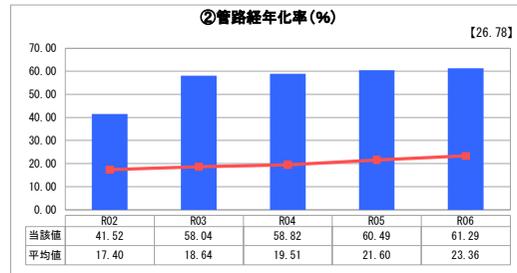
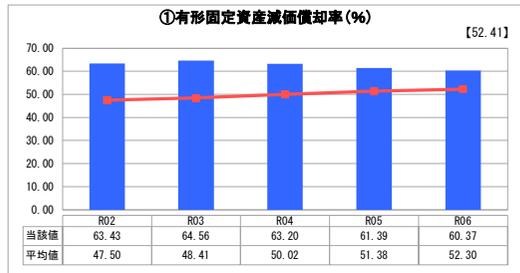
人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
7,953	46.21	172.11
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km <sup>2</sup> )	給水人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
7,927	46.19	171.62

グラフ凡例	
■	当該団体値 (当該値)
—	類似団体平均値 (平均値)
【	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経営の健全化を示す経営収支比率は100%を上回っているが、昨年度より10.89%の減となり107.40%となった。⑤料金水準の妥当性を示す料金回収率は前年度より24.13%の減で83.22%となり100%を下回っている結果となったが、類似団体平均値より1.77%上回っている。しかしながら一般会計等からの補助金を繰入れており、給水収益だけでは賄えず、他の収入に依存している。今後は、水道事業経営戦略をもとに現実的な運営を実施しながら、将来の料金改定も含めた経営改善に努めていく。

### 2. 老朽化の状況について

償却対象資産（土地を除く）の減価償却の状況を示す①有形固定資産減価償却率は60.37%で、昨年度より1.02%減少している。また、法定耐用年数（40年）を経過した管路延長の割合を示す②管路経年率は61.29%であり、昨年度と比べて0.80%増加している。③管路更新率は0.80%であり、前年度より0.87%の減となった。当町の導水管、送水管、配水管による基幹管路は昭和48年から昭和57年度に埋設されており2020年代前半に40年を経過する状況であり、現在、道路改良工事等に合わせて管路の更新工事を実施している。

### 全体総括

今後、老朽化に伴う管路の更新等を進めていくうえで、独立採算で事業を運営していくためには、収入は料金改定以外に財源の確保は難しいと考えるが、現状は職員による漏水調査の実施や必要経費の見直し改善などによる支出の抑制に努める。